

11 かけがえのない地球環境 (指導時期 2～3月・7時間)

★：その学年で特に育成を目指すべき問題解決の力を意識した内容です。

◆：その時間で学習する活動内容です。

単元の目標

生物と水、空気及び食べ物との関わりに着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、人の生活と持続可能な環境との関わりについて理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。

●人は、環境と関わり、工夫して生活していること。

●生物と環境について追究する中で、生物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。

小単元	時	学習内容	観点別評価規準例
地球環境を守る	1	○写真の川の様子について気付いたことを話し合う。	<p>【態度】 生物と地球環境についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉</p>
	2 3 4	<p>○地球環境を守るための取り組みをいろいろな方法で調べる。</p> <p>◆ 調べる</p> <p>○かけがえのない地球環境を守るため、私たちはどのような行動をすればよいのか、結果を基に話し合う。</p> <p>★ 考察</p>	<p>【知・技】 生物と地球環境について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉</p> <p>【思・判・表】 生物と地球環境について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、生物と地球環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉</p> <p>【知・技】 人は、環境と関わり、工夫して生活していることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉</p>

5 6 7	○これまでの自分たちの生活を振り返って、これからどのような行動をしていけばよいのか考え、発表する。	【態度】 生物と地球環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
-------------	---	--

【準備物】

環境に関する資料、タブレット、[色鉛筆、模造紙、油性ペン]